

<有人月探査を見据えた 科学・利用ミッション ワークショップ>

開催日 : 2012年 3月8日(木) 午前 9時50分～
会場 : 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 宇宙科学研究所 A棟2階 大会議場
主催 : 宇宙航空研究開発機構 月・惑星探査プログラムグループ(JSPEC) /SE室/
 有人月拠点システムチーム
共催 : 宇宙理学委員会
参加登録 : 当日受付(参加費:無料)

国際有人探査のロードマップ(Global Exploration Roadmap)により、月は次期有人探査の主要な目的地として位置付けられ、有人月探査の検討は今後、具体化が進むと考えられます。そのような中、SELENE(かぐや)の成功により、月科学分野において先進性と優位性を獲得しつつある我が国にとって、有人による月の科学探査・利用ミッションは最も貢献出来る分野の一つだと考えられます。そこで、「有人月探査を見据えた科学・利用ミッションワークショップ」を開催し、皆様と議論を深めてまいります。是非ご参加ください。

プログラム(案)

9:30 受付開始

9:50 開会の辞

10:00-10:30 国際有人探査の調整状況等

佐藤 直樹(JAXA、有人月拠点システムチーム) いま、有人宇宙探査をとりまく国際情勢はどうか

10:30-11:00 SELENE(かぐや)、その科学的成果

春山 純一(JAXA、H22/23年度月探査ミッション検討チーム) 日本の月探査におけるアドバンテージ。SELENE(かぐや)がもたらしたもの

11:00-11:20 月探査の将来計画・構想 I

橋本 樹明(JAXA) SELENE2 ミッション

11:20-11:35 月探査の将来計画・構想 II

澤井 秀次郎(JAXA) SLIM ミッション

—昼食(11:35~12:30)—

12:30-13:45 SELENE データアーカイブ・リリース状況(各15分)

~SELENEで得られたデータは、どのようなものか? 将来探査を考える一助として~

西野 真木 (JAXA)	電磁気環境 (LMAG, PAGE)
石原 吉明 (天文台)	重力場・地殻構造・高度データ (RISE, LALT)
小林 進悟 (放医研)	地質・鉱物 (MI, SP, GRS)
諸田 智克 (名大)	地形・地下構造 (TC, LRS)
晴山 真 (JAXA)	3D ムーンナビ

13:45-15:00 将来月科学・利用ミッションにむけて I (各 15 分)

～SELENE2 を超えて。その先に何を期待するのか?～

大竹 真紀子 (JAXA、H22/23 年度月探査ミッション検討チーム)	有人による月科学探査ミッション構想
岩田 隆浩 (JAXA)	月面天文台構想
白尾 元理 (惑星地質研)	月の溶岩チューブ
長谷部 信行 (早稲田大)	月面のガンマ線観測
永松 愛子 (JAXA)	月面の宇宙放射線研究利用

－休憩－ (15:00～15:15)

15:15-16:45 将来月科学・利用ミッションにむけて II (各 15 分)

～月の何が分かっているのか、何を覚えておくべきか、何を考えておくべきか?～

武田 弘 (東大名誉教授)	月の鉱物とその利用
春山 純一 (JAXA)	月の極、月の水
川本 広行 (早稲田大)	月のダスト
小林 泰三 (福井大)	月面の地盤
金森 洋史 (清水建設)	月面基地建設に向けて
西田 信一郎 (JAXA)	月面踏破技術

16:45-17:45 月科学・利用ミッションのワークショップのまとめ

～科学・利用ミッション検討の今後の方向性をどのように考えるか～

17:45 閉会の辞

世話人／問い合わせ先：

宇宙航空研究開発機構 月・惑星探査プログラムグループ／SE 室／有人月拠点システムチーム
 佐藤 直樹 (050-3362-2882 satoh.naoki1@jaxa.jp)、
 上野 浩史 (050-3362-7038 ueno.hiroshi@jaxa.jp)